

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	関西創価高等学校 寄宿舎整備計画	階数	地上3F、地下0F
建設地	大阪府交野市東倉治	構造	SRC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域	平均居住人員	122 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年7月 予定	評価の実施日	2025年10月15日
敷地面積	2,988 m ²	作成者	株式会社創造社 山本英之
建築面積	1,635 m ²	確認日	2025年10月15日
延床面積	4,375 m ²	確認者	株式会社創造社 八木大地

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)		2-3 大項目の評価(レーダーチャート)	
BEE = 1.7 ★★★★☆					
S: ★★★★★ A: ★★★★☆ B+: ★★★★ B: ★★★ B-: ★★ C: ★	30% ★★★★★ 60% ★★★★☆ 80% ★★★☆☆ 100% ☆☆☆ 100%超: ☆☆	3.0 1.5 BEE=1.0	100 50 0 0 50 100	Q2 サービス性能 Q1 室内環境 Q3 室外環境(敷地内) LR1 エネルギー LR2 資源・マテリアル LR3 敷地外環境	

2-4 中項目の評価(バーチャート)					
Q 環境品質		Q1 室内環境		Q2 サービス性能	
Q1のスコア = 2.5	Q1のスコア = 2.5	Q2のスコア = 3.3	Q2のスコア = 3.3	Q3のスコア = 3.2	Q3のスコア = 3.2
LR 環境負荷低減性	LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境		
LR1のスコア = 4.3	LR1のスコア = 4.3	LR2のスコア = 3.7	LR3のスコア = 3.2		

3 設計上の配慮事項			
総合		その他	
ZEH-M Orientedを取得し、省エネルギー性の高い快適な室内環境を整えられるよう努めた。		特になし。	
Q1 室内環境		Q2 サービス性能	
開口部の遮音性を高め、屋内の音環境に配慮している。		Gbitクラスのブロードバンドが利用可能な環境を整備している。	
Q1 室内環境		Q3 室外環境 (敷地内)	
開口部の遮音性を高め、屋内の音環境に配慮している。		植栽による修景、良好な景観形成へ配慮した取り組みを行っている。	
LR1 エネルギー		LR2 資源・マテリアル	
高効率給湯器、LED照明設備等を採用することで省エネルギーに配慮している。		節水器具を積極的に採用し、水資源の保護に配慮している。	
LR1 エネルギー		LR3 敷地外環境	
高効率給湯器、LED照明設備等を採用することで省エネルギーに配慮している。		ライフサイクルCO ₂ 排出率を参考値より抑制し、地球温暖化への配慮をしている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフケイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2018年版

2018年版

受付番号

R7-0069

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存 2024V1.4

【建物概要】 建物名称		関西創価高等学校 寄宿舎整備計画													
建設地		大阪府交野市東倉治													
用途／区分		集合住宅													
【評価結果】	CASBEE 総合評価							A							
①	CO2削減							4							
②	みどり・ヒート アイランド対策							3							
③	断熱性能							5							
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル							5							
④	エネルギー消費性能							5							
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル							2							
	非住宅建築物又は 複合建築物の非住宅部分		評価対象外					評価対象外							
⑤	自然エネルギー直接利用														
	再生可能エネルギー		太陽光発電	○	風力	—	地熱	—							
	利用施設の導入状況		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—							
		エネルギー消費量の報告													
対象外															
【評価項目】															
項目		評価内容					スコア	評価							
① CO2削減		CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮					3.8	4							
② みどり・ヒートアイランド対策															
生物環境の保全と創出		CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出					3.0	3							
敷地内温熱環境の向上		CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3.2 敷地内温熱環境の向上					3.0								
温熱環境悪化の改善		CASBEE LR3 敷地外環 2.2 温熱環境悪化の改善					3.0								
③ 断熱性能		CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制					5.0	5							
④ エネルギー消費性能		CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化					5.0	5							
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用					2.0	—							
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。					報告する 報告しない	—							
その他															
先進的技術の導入			技術の名称			考慮事項									
特に配慮した事項															